

各学部・各研究科におけるFD活動の目標について

(1) 国際文化研究科

国際文化研究科におけるFD活動の目標は次のとおりとする。

- ① 教員の自己点検による意識改革
- ② 教員個人の教育レベル向上
- ③ 教員個人の研究レベル向上
- ④ 組織運営の評価・改善のための資料収集
- ⑤ 社会に対する説明責任

上の諸事項を実現するために、授業アンケートやFDサロンを実施している。さらに教育研究の内容を充実させるためには、在学院生の実態を正確に把握して、教育効果を上げる必要がある。そのためには研究指導のさらなる充実化（たとえば論文指導の一環として啓蒙的要素を多めに適用するなど）が求められよう。

(2) 経済情報研究科

経済情報研究科におけるFD活動の目標は次のとおりとする。

「地域の知の拠点としてイノベーションの創出、地域活性化、地域人材育成に貢献する教育を行う。」

○趣旨

幼稚園から博士後期課程まで存在する（縦の）総合学園である本学園の特徴と、経済・経営・情報という学際的研究教育を行う本研究科の特徴を強みとして生かし、地域の知の拠点として積極的に地域の役割を担い、教育・研究を通じて地域に貢献する。

○具体策は今後の課題だが、考えられる一例

・入学者

社会人院生を大幅に増加させる。

超高齢化社会に対応した学びの場、学び直しの場の提供

産学連携の推進、エクステンションセンターの活用。

社会人向け説明会の活発化。

・授業内容

政策提言的な講義を含める。

社会人同士が政策提言に向けてアクティブな議論のできる場とする。

税理士試験免除のシステム導入

(学際的な) 地域学 (岐阜学) などの講座設置

例：地域医療、地域高齢化対策、商店街活性化、地域の歴史、地域の雇用、地域環境問題、地域情報ネットワーク・システム、防災・減災対策、地域産業経済等

・学位論文

社会人院生のプラクティカルな問題意識をアカデミックな理論と融合してゆく。

・シンポジウムの開催、政策提言書の発行等

(3) 教育学部

教育学部におけるFD活動の目標は次のとおりとする。

「学生が各教科の学問的背景をしっかりと学び実践的指導力を養えるように、教員の意識を高め、教育システムを充実する。」

(4) 外国語学部

外国語学部におけるFD活動の目標は次のとおりとする。

「双方向による授業の確立」

目標達成のための施策：①授業実践報告会の定期的な開催

②授業改善のための学部独自のアンケート用紙の作成と実施

③外部講師による研修会の開催

(5) 経済情報学部

経済情報学部におけるFD活動の目標は次の通りとする。

「地域に根ざした人材育成」を推進するための体制を作る

・目標達成のための施策

1. 「地域に根ざした人材育成」の内容検討を行い、これに伴うカリキュラム変更などの検討を行う。

2. 「地域に根ざした人材育成」に深く関係する授業科目の授業実践報告交流会を定期的を開催し、内容の経験交流を行う。

3. 外部講師による研修会を開催する。

・年度末に、その年度の施策を整理し、評価を行い、次年度の施策に反映させる。

(6) 短期大学部

短期大学部におけるFD活動の目標は次のとおりとする。

「即戦力となるより良い保育者の育成を目指す」

方策：

①保育者としての実践力を身につけるために

・「保育研究大会」において学生が主体的に企画・運営に関わりながら、現職の保育

者や子供たちとの接触を通して、保育者としての資質を育成する。

②保育現場を見据えた教員の教育力の向上のために

- ・学科独自のFD研修会をさらに充実させ、教員間の相互啓発や教育力向上に資する。
- ・「聖徳会」の活動における幼稚園・保育園の園長クラスとの意見交換や本学教員の各園の保育者に対する現任教育を通して、教員の現場につながる教育力の向上を目指す。